

# 1年次の研究より

## 1. 研究の概要

### 【本校の児童の実態】

- おだやかに、落ち着いて学習に向かうことができる子が多い。
- 時間をかけ、課題を最後までやろうとする姿勢の子が多い。
- 算数科において基礎基本の学習の定着が低い子がいる。  
→自信がもてない。
- 自分から進んで考える意欲が低く自分の考えがもてない子がいる。  
→どうしたらよいかわからない。
- 少人数での話し合い活動はできるが、全体での話し合い活動を苦手とする子がいる。  
→発表が苦手。

### 【めざす児童像】

- ・自ら考え表現する子ども
- ・互いの考えを認め学び合う子ども



## 2. 研究主題

### 【研究主題】

自ら考え、関わり合いながら

学ぶ子どもの育成（算数科）

～「できた」「わかった」が実感できる

算数科の授業作り～



# 3. 研究仮説

## 視点1 「考える力」の育成

- ①既習事項の明確化
- ②基本的な学習スタイルの確立
- ③板書と連動したノート作り ※新しいスタイル
- ④問題をきっかけとした、課題設定の工夫
- ⑤学習意欲をもたせる教材教具の工夫
- ⑥児童の実態に合わせた指導の工夫  
(数学的活動の工夫、ICT機器の効果的な活用)

## 視点2 「学び合い」の充実

①基礎基本の定着（既習事項の定着など）

②わかりやすく伝える力の育成→ノート作り

③交流形態の工夫（ペア・グループなど）

④考えを深める場の設定

→表現活動を通して学び

を深める

⑤わかったと実感できるふり返し活動

→確認問題など

## 4. 前年度までの成果と課題

▶令和元年度 力を入れてきたのは…

視点1 「考える力」の育成

○子どもたちが考えることの第一歩を踏み出したくなるような  
問題・課題設定の工夫

○課題解決のための手立て

(既習事項の生かし方・数学的活動・児童の実態に合った教材  
の工夫 | C T 機器の活用)

○ノート作り

視点2 「学び合い」の充実

○交流場面 (伝え合い→学び合い) の基礎作り

▶令和2年度は…新学習指導要領！

○基礎的基本的な知識や技能の習得

→学んだことをどう使って、何ができるようになったのか。

○子どもの考えをはっきりさせる ノート作りの工夫

○少人数から全体へ。学びを深める 学び合い への交流場面作り

# 日々の学級活動の中から 授業実践へ

## 1 年次の取り組み①

基本的なルールや約束

- ①授業の準備は、休み時間にしておこう。
- ②チャイム着席をしよう。
- ③机の上は、必要なものだけ置こう。
- ④正しい姿勢で勉強しよう。

**学習態度や基本的な生活習慣の改善や向上、集中力を養うために**

# 1年次の取り組み②

## ノート作り

- ・「書く活動」を通して、数学的な考えや表現力が高まる

算数ノートを目指します。

- ・思考力や表現力を高めるために…

自分の考え

気づき

考えのまとめ

- ・書く→理解が深まる→自信がもてる  
→発表する意欲へ→関わり合いながら学ぶ主体的な学習へ



# 基本的な授業のスタイル①

## つかむ→見通す

### ※既習事項の確認

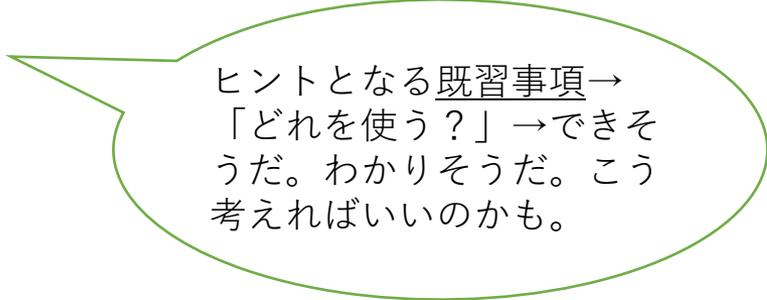
#### ①問題をよく読もう。

わかっていることや聞かれていることは？意味をつかもう。

#### ②課題を書こう。

今までに学習したことは  
使えないかな？

見通しを持とう。



ヒントとなる既習事項→  
「どれを使う？」→できそ  
うだ。わかりそうだ。こう  
考えればいいのかも。

## 考える

### 自分の考えを書こう。（伝えるための思考の整理）

図や数直線、帯図、線分図、表、式などで表そう。説明も  
書いてみよう。

他のやり方はないか考えよう。発表の準備をしよう。

**数学的表現を使って**

# 基本的な授業スタイル②

## 深める

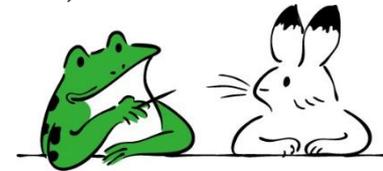
### 交流しよう。

○自分の考えを順序よく説明しよう。

(初めに… 次に… そして… だから…)



○友達の考えをよく聞こう。



(にているところは… ちがいは… つけたしたいところ…)

ペア、グループ、全体で…話合いの目的をもって！

やりやすい考えは？ (解決方法の検討)

簡単、正確、速く、いつでも使えるのは、どれ？

交流の仕方もいろいろ…  
**必要に応じてポイントごとにまとめよう。**

- 思考の再整理
- 全体交流にむけて考えを確認
- 間違いはないかな？

# 基本的な授業スタイル③

## まとめ

### ①「課題」に対するまとめをしよう。

- ・めあてに戻ろう。（本時の課題は何だった？）
- ・どのように課題を解決したのか、板書をふりかえろう。（本時の学習で学んだこと、わかったことは何かな。）
- ・自分の言葉でまとめよう。（低学年は先生と一緒に、中高学年は自分の言葉で）

### ②ためしてみよう。

- 確認問題を解こう。→練習問題…本時の学習問題と同様な問題を解こう。
- 適用問題…本時の学習問題と少し質の異なる問題を解こう。
- 発展問題…活用力をつける問題を解こう。

### ③振り返りをしよう。次の時間に学びをつなげよう。

全体を振り返ろう。

# 森の里小の学び合い

既習事項を使って  
考えをもとう。

## ○1人学びの時間をつくる。

自分の考えをもつことができる。(時には、「考えをもてない」と認識することも大切)

## ○交流を行う。(ペア・グループ・全体)

自分の考えを伝え、友だちの考えを知ることができる。

→低学年の目標

- ・友だちと同じ、似ている、違う。
- ・友だちに教えてもらいながら考えをもつことができる。

## ○自分の考えを再構築する。

自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。

→中学年の目標

- ・友だちの考えを聞いて、やっぱり〇〇と考えた。
  - ・□□だと考えていたが、友だちの意見を聞いて〇〇と考えた。
- ※気づきや違いを受け入れ、自分の言葉で考えつなげていく。

## ○全体で共有し、考えを深める。

みんなで学びを深めることができる。

→高学年の目標

- ・いろいろな考えを聞いて、〇〇と考えた。
- ※違いを受け入れ、自分の言葉で考えつなげていく。

大事なことはポイントごとに  
まとめていこう。